

Q.貴社設立のきっかけを教えてください。

20歳過ぎから運送業界で働きだして5社ほど勤めました。色々な会社で勤めてみて感じていたのが、「社長だけが羽振りがよくて、従業員の待遇が悪い」ということ。仕事をやればやるほど給料に見合っていないな…と感じるようになりました。やっぱり「3K」というのが拭えないというか…同時に、この状況、変えられるんじゃないかとも考えていました。

勤めた全ての会社の社長とうまういかなかったですね（笑）。「従業員を裕福にするためには会社自体を大きくしていく必要があると思う。」「会社を大きくしていくには従業員が必要です。」こうした話をするんですけど、全然聞く耳を持ってくれない。「俺がこう決めたからこうする。」「俺はこのままでいい」って。「自分が良かったらそれでいい」という感じでしたね。5社全ての社長に「自分で会社経営したら」って言われました。

それで24歳の時に、独立しようと決めました。**自分自身や同僚の働き方を見て、できることがある、**とっていましたね。



代表取締役 豊島 優助 氏

Q.そうした状況での創業、資金繰りも大変だったのではないですか？

平成27年（2015年）に、26歳ではじめたんですけど、めちゃくちゃ大変でした。当時買ったばかりの車を手放して、資本金300万円を何とか工面して、そこから始めました。

妻には会社発足の前日に言いました。めちゃくちゃ怒られましたね（笑）。一月に最低、●万円は必ず家に入れる、ということをや約束して始めました。

Q.ドライバーとして働かれていた経験をお持ちですが、「トラックが好き」そんな思いをお持ちなののでしょうか？

正直、トラックは好きではないですね。大嫌いというか…（笑）。

人って、基本的に仕事に対して、後ろ向きだと思うんです。「給料どれだけもらえるんやろ」とか「いつ仕事おわるんやろ」とか…。そう思いながら、トラックを走らせる。ここに矛盾をはらんでいるというか…「気持ち後は後ろ向きやのに、前向いて走らなあかん」…あんまり好きじゃないですね。

だからこそ、**トラックが好き、と言って働いてくれている従業員のことは本当にリスペクトしています。**

Q.設立されて約10年で約150名もの会社に成長されました。創業時からの従業員の推移や、その人材確保の手段を教えてください。

創業時は自分1人でした。そこから一般貨物自動車運送事業の許可をとるために6人になりました。知人や知人の紹介で集めました。

その後は「2024年問題」が取り沙汰されるようになって、これに対応できる「2024年モデルの運送企業をつくろう」と決めて、そこからうなぎ登りに従業員が増えていきました。

従業員の確保にはSNSを活用したり、デコレーショントラックを広告塔としたり…正直今も昔も「人が集まらない」という感覚はないですね。

Q.創業された平成27年（2015年）時点では、既に運送業は「人材不足」とされている業界でした。当時から人材確保は大変だったのではないかと思います。戦略的なものはあったのでしょうか？

「運送業」「トラック」という視点ではなく、「**会社がおもしろくなければ人は集まらない**」という信条がありました。会社自体がおもしろくなれば「運送業」であっても、人は集まるとしていました。

「おもしろい」というのは仕事の在り方、人間関係等、全てを総合したおもしろさですね。その場で働く喜び・魅力です。

そういうところを目指して、デコレーショントラックを用いたり、イベントを開催したり、若い社長でイケイケなところをSNS等で発信したり…そうしたことに取り組んできました。

Q.多くの若い方が活躍されているとのことですが、若い方の人材確保を意識されているのでしょうか？

やはり、ドライバーが高齢化しているという事実がありますから。若い人材を確保したい、という思いはあります。

本社では30代が多くなってきていますが、めちゃくちゃ若い子もいますね。20代前半や21歳の大型ドライバーもいます。他府県の高校から問い合わせがあって入社したいという話もありました。高校の先生から連絡があって。SNSで見て懂れて…という形ですね。

若い応募者には、私が面接対応できるときは「やめといたら」と言ってます（笑）。トラックドライバーはもう少し歳をとってからでもできるから、若いうちにしかできないことをやったら、と。でもやりたいことがトラックドライバーで、この会社に入りたい、といって来てもらえるのはありがたいことですね。

ハローワーク布施 人材確保応援ホームページ
「Our efforts」インタビュー



- 【会社プロフィール】
- 平成27年（2015年）設立。一般貨物自動車運送事業・倉庫業を営む。10年で150人の従業員を抱える企業に成長。
 - 先を見据え2024年問題にも輸送力を低下させることなく対応。順調に業績をあげている。
 - 社名に「商事」と入れているのは、将来を見据えて。自ら確保した商品を、運送業のインフラも活かして輸送することをビジョンとして描いている。

株式会社 優輪商事

Q.「2024年問題」は大きく取り沙汰されましたが、どのように乗り切ってこられたのでしょうか？

大きく取り上げられるようになったのが2018年～2019年頃だったと記憶しています。その時には「バケツリレー」をイメージして営業所をたくさん増やし始めていました。大阪から東京まで走れなくなる、じゃあ名古屋で一度乗り換え・載せ換えしよう、ということですね。四国・九州にも営業所があります。だから輸送力を低下させる、ということは一切ありませんでした。

インフラを構築し、人やトラックがどれだけ必要かを積算して、一気に増やす、その結果が今に現れています。多くの会社のドライバーが歩合制で、距離を走れなくなることで収入減となる中、弊社は給与を固定にしているので収入減なんてことはありません。

ちなみに、給与については半年前にも大幅UPしました。**給料をあげると会社としてはしんどい、というのはありますが・・・でも人は全く辞めなくなりましたね。**

Q.SNSの活用も若手人材確保の一つのキーワードになっているかと思いますが、誰が始められたのでしょうか？またどのように管理されているのでしょうか？

Instagramは私がやり始めましたね。本当にInstagramが広がりだした頃に。今はあまり更新できていないですが、たまに事務方が更新しています。TikTokは群馬営業所が積極的にやっていますね。

ある程度「こういう内容はだめ」というルールは決めてはいますが、SNSの活用自体には賛同して任せています。**SNSを見たことをきっかけにして、求人へ応募されてきたことも結構ありますしね。人材確保の面でも効果的なものだと思います。**

Q.スウェーデン製でドライバーに人気の高いトラック・「スカニア」をデコレーションして活用されています。これも人材確保の戦略の一つでしょうか？

これは意図的に、戦略として取り入れたものです。**トラック単体にかかる経費としては割高になります。ただ、求人広告費はかけていません。求人広告費にお金をかけるなら、トラックにお金をかけて広告塔にしよう。結果、これだけ人が集まってきていただいています。**ちなみに従業員の要望もあり、一人に専属で一台としています。

デザインは、全台、私がしています。外国映画のヒーローの色をまねていると思われがちですが、それはたまたまでして。「輸送は日本の血液」という意味の赤色です。個人的にも赤色が好きですし。赤色とのコントラストで合う色が「クリーム色」だなど。最初は他の会社の社長連中から「赤色にするな」と言われました。その根拠が「赤字になるから。」という迷信で……。無視して赤色にしました（笑）。最近では赤色、他社でもたくさん走っていますよ。

結果的に外国映画のヒーローの色に似てしまったんですが、他に緑、青、黒のトラックもあります。それは、当社のトラックを見た方から、SNSで「外国映画ヒーローの仲間の色の車もつくって」という声があったので、遊び心でデザインしました（笑）。



Q.若手人材の確保に成功されていますが、職場定着するように配慮していることはありますか？

弊社に残って頑張りたい、でも気になることがある、改善してほしいことがある、という場合は、真摯に話を聞きますね。表の駐車場の地べたに座って話をきいたりします。多数、相談の連絡が私の社用スマートフォンに直接きます。若手ドライバーもよく相談してきてくれます。私もウェルカムです。そういう意味で**従業員との距離はかなり近い**ですね。もちろん、対策がとれることは、速やかに対処します。

辞めたいとなった場合は、ひきとめません。弊社にいてメリットがないと従業員が判断したのであれば、やむを得ないことです。弊社と合わないという方もいるでしょうから。

ただ、若くして入社されて頑張ってくれている方は成長著しいですし、抜擢します。20歳で入社してきて23歳で課長、という方もいます。

Q.業務の性質上、毎週土日休み、とはいかないと思いますし、残業もあろうかと思いますが。一方で近年、特に若年者は、ワークライフバランスを重視する傾向があります。こういう声が若手従業員から届いた時、どんな対応をされていますか？

声自体は真摯に受け止めます。できる限り休ませてあげたいと思っていますし、配慮もしています。

一方で、本当に、働くことの意味・楽しさ、お金を稼ぐことの意味・喜び、こうしたことを理解し感じてくれているのか、とも思っています。だから、ワークライフバランスを重視するのもいいけれど、「働くこと・稼ぐこと」を理解しないまま、自ら成長を止めることがないよう、「働くこと・稼ぐこと」もいいもんだよと、話をしたりしています。

Q.有給休暇の取得率はいかがですか？

めっちゃくちゃ休んでます。スケジュールの段取りをする必要があるので1週間前に申請することをルールにしていますが、前日に申請してきても、内勤の社員が乗務するなど、何とか調整して取得できるようにしています。

少しでも希望を叶えてあげたいという気持ちはありますね。余談ですが日曜日やお盆、年末年始は私もトラックに乗っています。一人でも休ませてあげたい、優輪商事楽やわ、て言ってもらいたいですね。

ただ、現在、賃金面での更なる待遇改善を検討していますが、そのためには多くの仕事をしなければならない。一方で休暇を取得したいという思いも理解できます。今このあたりのドライバーの意識を見定めているところです。



Q.従業員の皆様は、貴社にとってどんな存在ですか？

逆ピラミッドの頂点です。**働いてくれている従業員がいるからこそ、弊社は成り立っています。**

社長は逆ピラミッドの一番底辺。だから私は365日働こうと思っていますし、社長室ありません。

ただ、伝えたいこと・伝えるべきことはできるだけ伝え、教えたいこと・教えるべきことは教えています。

おかしいと思うことはおかしいとはっきり言います。

株式会社 優輪商事

従業員の皆様にうかがいました！



【橋詰さんプロフィール】

- 25歳・男性。
- 入社3年目。ドライバー歴は6年。
- 前職は大手運送業のドライバー。



【関口さんプロフィール】

- 24歳・男性。
- 入社3年目。ドライバー歴は5年。
- 前職は工作機器の搬入、据付（重量屋）。

Q.ドライバーとして働きたい・働こう、と思われた理由を教えてください。

- （橋詰さん）1人の時間が多く自分のペースで働けると思ったこと、また、自身の経歴を活かして働ける仕事の中で、お給料が多かったからです。
- （関口さん）幼い頃に住んでいた家の前に、トラックが多数停まっていたのでトラックが好きになりました。小学校2年生の頃からトラックドライバーになるのが夢でした。

Q.ドライバーとして働くにあたり、株式会社優輪商事を選ばれた理由を教えてください。

- （橋詰さん）ドライバー職を探していたところ、Instagramで弊社の投稿を見て、トラックが格好よかったので乗りたいと思いました。
- （関口さん）スカニアへの憧れと、休みのとりやすさ、地場での運行ができることが理由です。家族との時間も大切にできました。

Q.ドライバーとして働くことの魅力、やりがい等を教えてください。

- （橋詰さん）運転中は一人なので自分の時間を作りやすいことです。また、人見知りの方でも楽しく仕事ができると思います。
- （関口さん）色々な荷物がありますが、安全に届けられた時にやりがいを感じます。長距離運転で遠方に行った際に温泉に入ったり、ご当地のものを食べられる点が魅力です。

Q.ドライバーとして働くことの大変さ、苦労したこと等を教えてください。

- （橋詰さん）トラックに乗っている時間が長いことです。これまでは外に出て仕事をしている時間が長かったので、慣れるまでに時間がかかりました。トラックの中を居心地の良い空間にしたりすることで乗り切ってきました。
- （関口さん）眠くならないようにすることです。休憩時間に少しでも睡眠をとったり、音楽を流したり、色々な方法で眠気が来ないようにしています。

Q.株式会社優輪商事で働くことの魅力を教えてください。

- （橋詰さん）色々と融通がききやすいこと、有給休暇や振替休日がしっかりとれることです。
- （関口さん）ドライバー同士が仲がいいこと、有給休暇がとりやすいこと、会社自体が現状維持の体質ではなく、常に前進していることです。

Q.ドライバーとして働くにあたり、「こうしたことが求められる」と考えられることはありますか？

- （橋詰さん）一つ一つの荷物を大切に扱うことです。積んだ時と同じように破損等がない状態で納品することを意識しています。
- （関口さん）周りの車への配慮や気配りと、お客様や関係者へ元気よく対応することです。

Q.主にこういった場所へ配送されていますか？

- （橋詰さん）大手物流メーカーで、基本的には鳥取県へ配送しています。
- （関口さん）地場・中距離がメインなので、広島県や静岡県あたりまでです。

Q.配送はお一人でされているのでしょうか？

- （橋詰さん）基本的には1人です。たまに弊社のドライバー同士で手伝って積むこともあります。
- （関口さん）基本的には1人ですが、積む所、降ろす所で他の会社のドライバーさんが手助けしてくれたり、倉庫の方と一緒に作業をすることもあります。

Q.職務を遂行されるにあたり、気をつけておられることを教えてください。

- （橋詰さん）無事故、無違反です！。
- （関口さん）軽微な事故も起こさないこと、急ブレーキ・急発進をしないこと、荷物を傷つけないようにしっかり養生することです。

Q.職務を遂行されてきた中で一番嬉しかったこと、また、株式会社優輪商事にお勤めになって、一番嬉しかったことを教えてください。

- （橋詰さん）仕事では予定より早く荷物を積めると嬉しいです。弊社に入社して嬉しかったことは、大手メーカー様の仕事を任された時です。自分が必要とされていると実感できました。
- （関口さん）ずっと憧れていたスカニアに乗れたことです。また、入社時に付き合っていた彼女と結婚し、休みも取りやすい環境で、家族との時間を増やすことができたことです。

Q.職務を遂行されてきた中で、失敗したことのうち、印象的なことを教えてください。

- （橋詰さん）一度、荷物を倒してしまったことがあり、指導を受けました。代表や同僚は、何が原因でそうなったのか、次から倒さないようにするためにはどういった対策が必要かを一緒に考えてくれました。
- （関口さん）免許取得したての頃に道を間違え、バックしている時に焦ってしまい、バンパーを破損してしまいました。誰も怒ったりせず、「今度から気をつけよう」「大丈夫、大丈夫」と優しい言葉をかけてくれました。

Q.基本的にお一人でのお仕事なので、ドライバー同士が会う機会も少ないのではないかと思います。どのようにコミュニケーションをとられていますか？

- （橋詰さん）車庫で会った時に積極的に話をするようにしています。
- （関口さん）養生の仕方や、積む所・降ろす所の情報をドライバー同士で共有しています。自由参加のバーベキュー等のイベントもあります。何か困った時に助け合えるよう、わかりにくい道についての情報共有や事故事例について話し合ったりすることは、事故防止に役立っていると感じています。

Q.お休みは基本的に日曜日・祝日、年末年始やお盆等の大型連休とうかがっています。休日はどのように過ごしてリフレッシュされていますか？

- （橋詰さん）家族と出かけることが一番のリフレッシュです。
- （関口さん）犬を飼い始めたので、朝6時からドッグランに行き、カフェで休憩、その後はドラマを見たりして過ごしています。連休にはキャンプに行ったりもします。

Q.ズバリ！株式会社優輪商事の「ここが良い！」と思われることを教えてください。

- （橋詰さん）成長中の会社で、従業員のための制度や手当等が増えていっていることです。
- （関口さん）ドライバー同士の仲が良く、上司も気さくな方ばかりなところ。

Q.今後の目標を教えてください。

- （橋詰さん）家族が幸せに過ごせるよう、毎日事故なく無事に帰ることです。
- （関口さん）トレーラーに乗るのが夢なので、この会社でトレーラーに乗ることです。

Q.入社を検討されている方へメッセージをお願いします。

- （橋詰さん）優しい方が多く、分からないことも丁寧に教えてくださるので、この仕事が初めての方でも働きやすい環境だと思います。ドライバーも人情のある良い方ばかりなので、少しでも気になられている方は、ぜひ応募を検討してみてください！
- （関口さん）しっかりと休みもとれて、家族との時間も大切にできる職場です。運行手当も充実しているので、モチベーションを保ちながら働ける環境です。頑張ったことがきちんと評価される会社なので、やりがいがあります。是非応募を検討してください！

